



河川水質調査 ～SS環境科学～

5月7日(金)、環境科学科1年生は和歌山市内の河川から水を採取し、水質調査を行いました。

午後からあいにくの小雨でしたが、数人のグループで新堀川・和田川等、河川沿いの橋ごとに分かれて採水しました。その後学校に戻り、パックテストにより水の成分を分析し、川の流れの向きや速さ等のデータを使いながら「和歌山市内の河川は生物の生存に適しているか」というテーマでレポートを作成しました。



県高校総体・壮行式 ～各部の主将が力強く決意表明～



5月24日(月)、今月末から始まる県高校総体の壮行式を行いました。体育館には2・3年が入場し、1年は教室のプロジェクトを使ったオンライン中継で参加しました。

選手たちはユニフォーム姿で整列し、各主将が大会に向けて決意を表明しました。前田校長先生は「信は力なり」という言葉を贈り、各部の健闘を祈って全員で手締めをしました。そして、生徒会長から激励の言葉があり、

最後にハンドボール部の一ノ瀬主将が選手を代表してお礼の言葉を述べました。

JRC部が清掃活動 ～学校周辺のゴミ拾い～

5月25日(火)の放課後、JRC部11名が学校周辺の清掃活動を行いました。JRC部では大規模災害等への募金活動が主な活動でしたが、コロナ禍でできなくなり、新しい取り組みを部員たちは考えていました。

学校周辺は通学路であるとともに、地元の方の生活道路でもあるので地域への感謝の気持ちも込めてゴミ拾いを行いました。今後も月1回のペースで行います。



命の大切さを学ぶ教室 ～犯罪被害者遺族の方から学んだこと～



5月31日(月)の午後、2年生を対象に「命の大切さを学ぶ教室」を開催しました。この教室は、犯罪被害者遺族の方からお話を聞き、大切な命を守り誰もが安心して暮らせる安全な社会の実現に向けて一人ひとりが考えることを目的に全国の学校で行われています。

今回の講師、鷲見三重子さんの長男(当時高校2年)は横断歩道を歩行中、脇見運転の車にはねられて亡くなりました。鷲見さんは講演を通して、命の大切さ・事故や犯罪の防止を訴えています。

「命は地球より重いと言いますが、法律上では軽いものです」という鷲見さんの言葉は、突然家族を理不尽に奪われた遺族の心からの訴えとして私たちの心に重く響きました。「ルール」を守ることは「大切な命」を守ることであり、被害者も加害者も生まないための唯一の方法であることを、生徒たちは鷲見さんから教えていただきました。